

日本発ドイツ便り：フランクフルトのカーニバル

ドイツの Karneval (カーニバル) は、こんな感じの日程です。

例えば我が第二の故郷ケルンの場合

11月11日11時11分：カーニバル開始（カーニバルの時期は固定ではなく、毎年変わりますが、この日時は固定です。）

カーニバルの初日は木曜日。Weiberfastnacht（ヴァイバー・ファストナハト：女性のカーニバル。この日はうっかりネクタイをしていたら、はさみを持った女性たちに、切り落とされることになるので、ご注意ください！☺切り落とされても惜しくない古いネクタイや安物を締めてお出かけください。逃げちゃだめですよ。女装の男性が多いのもこの日です。ちなみにケルン語ではWieverfastelovend と言うそうですが、発音は聞かないでください☺）

その後は、Karnevalsfritag（カーニバルの金曜日）、Karnevalssamstag（カーニバルの土曜日）、Karnevalssonntag（カーニバルの日曜日）と続いて、

月曜日：Rosenmontag（ローゼン・モンターク：薔薇の月曜日）がパレードなどで一番盛り上がる日。

そして最終日が火曜日：Veilchendienstag（ヴェイルヒェン・ディンスターク：スマイルの火曜日）この日は夜、日付が変わる頃に Nubbelverbrennung（ヌッベル・フェアブレンヌング：Nubbel というのは等身大の藁人形で、罪や悪の象徴として、燃やされます！そういえば、ケルンで住んでいた家の近くでも、夜中に皆がろうそく片手に集まって、カーニバルの歌を歌いながら何か燃やしていましたね…。なんだろうと怪しんでいたのですが、こんな行事だったとは！）ここでカーニバルは終わり。

翌日水曜日：Aschermittwoch（アッシャー・ミットヴオットホ：灰の水曜日）で、この日から46日後のOstern（オスターン：イースター）までの断食期間に入ります。といっても一般的には肉やお菓子の量を少々減らすといった程度だそうです。

これがケルンの Die fünfte Jahreszeit（フュンフテ・ヤーレスツァイト：第5の季節）、と言われる Karneval です。Karneval 期間中って、別に祝日とかではないのですが、学校も会社も休みじゃないけど、「当然行かない」って感じなのが面白いです。

今回、Venezia からフランクフルトに帰ってきたのが、カーニバルの日曜日の夕方。空港から街に向かう電車の中にも仮装の人が多く、ちょっと気分が盛り上がりました。翌日は午前中までの滞在でしたが、もしかして Rosenmontag に、Venezia のマスク付けて行けるかも！と少々期待しつつ、ホテルのチェックイン時に勢いよく聞いてみたのですが、とっても残念な答えが…。なんと、Frankfurt のカーニバルは日曜日で終わり。（その日は毎年の恒例行事として、ケルンから Karneval Prinz（カーニバル・プリンツ：カーニバルの王子様）がゲストでやってくるそうです。ケルンの掛け声は Alaaf!：アラーフですが、フランクフルトでは Helau!：ヘラウ！）でも近くの Mainz（マインツ：フランクフルトから電車で30分くらいのところ）は、Rosenmontag を盛大に騒ぐから、明日行っておいで！とのこと…。あと1日滞在時間があれば、間違いなく行くんですが…。

気を取り直して街の中へ。至るところに仮装の人やカーニバルの残骸（紙テープとか紙吹雪とか）があ

りました。こういう時、とことんバカになって楽しめるのがドイツ人の良いところですよ。老若男女それぞれ好きなように仮装していますが、恥ずかしそうにしている人なんて一人もいませんもん。☺



翌朝、いつもの Römerplatz (レーマー広場) に行ってみると、ここがカーニバルの Zug (ツーク：パレード) のメイン会場になっていたようで、確かに普段はないカーニバルの旗が出ていました。(写真手前の四色旗です。)

観客席の撤収も始まっていて、「祭りの後」感満載なのが寂しかったです…。

とりあえず、これだけ食べてカーニバル気分。いくつかある、カーニバル時期のお菓子の一つ、Krapfen (クラブフェン) です。ジャムがたっぷり入った揚げパンです。中のジャムはイチゴだったりアプリコットだったりします。街によって呼び方も違って、Berliner (ベルリーナー) だったり Pfankuche (プファンクーヘン) だったり、Kreppel (クレッペル) だったりしますが、どれも同じものようです。かなり大きいですが、意外に軽くて美味しいです。一年中パン屋さんで売っていますが、なぜかカーニバルになると脚光を浴びるお菓子です。☺



お昼前、中央駅にはこれから Mainz に出かけるのであろう仮装集団が大勢いて、私はスーツケース両手にそれを羨望の目で眺めながら…。空港に向かいました。(涙)



懐かしの写真を引っ張り出してきました。ある年のケルンのカーニバル中の街の様子を。
毎年一種のホームシックを感じる(?)のがこのカーニバルの時期です。☺
また参加したいですね。
(なんか、あまりフランクフルトとは関係なくなりましたが…)